

金沢商工会議所 「最近の景況・業況動向調査」 (平成30年度第3四半期) 結果

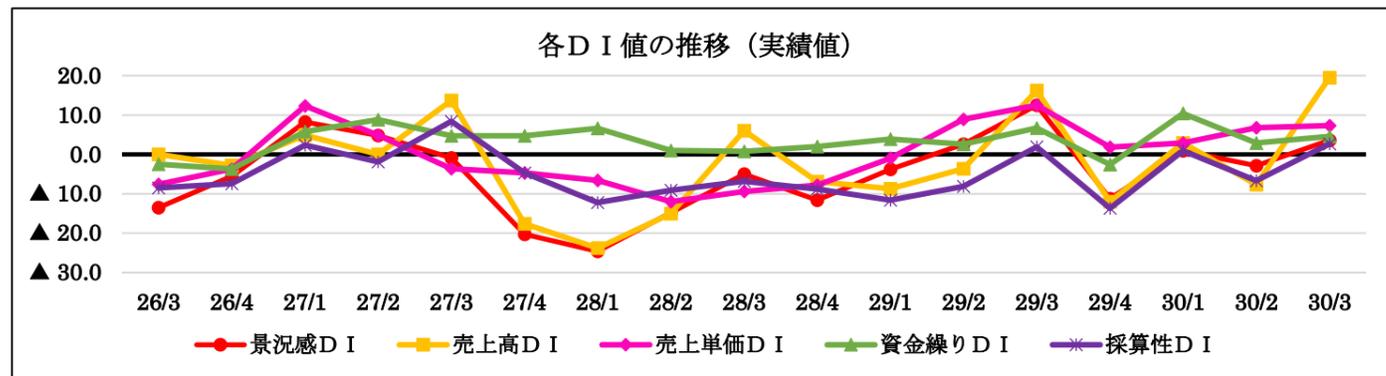
■調査時期：平成30年度第3四半期（10月～12月） ■調査企業数：300社（当所議員・評議員）
 ■調査時点：平成30年12月中旬 ■回答企業数：110社（回答率36.7%）

○すべてのD I値が前期より上昇し、プラス値を記録するも次期はすべてのD I値がマイナスに。
 ○経営上の問題点は「従業員の確保難」が10期連続最多。
 ○外国人労働者を「雇用していない」が約8割、その最大の要因が「社内の受け入れ体制が不十分」となった。
 ○今後の外国人労働者の雇用計画については、約8割の企業が「現状維持（雇用しない場合も含む）」と回答。

【景況・業況の動向】《平成30年度第3四半期（10月～12月）の状況》 ※来期D Iは予測

	今期D I	対前期比	来期D I	対今期比
景況感D I	3.6	6.5 ↑	▲19.4	23.0 ↓
売上高D I	19.5	27.2 ↑	▲13.1	32.6 ↓
売上単価D I	7.3	0.5 ↑	▲5.6	12.9 ↓
資金繰りD I	4.6	1.7 ↑	▲4.7	9.3 ↓
採算性D I	2.7	9.4 ↑	▲16.8	19.5 ↓

D I値（業況判断指数）とは
 0を基準として+値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多い事を示し、-値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多い事を示す。
 D I = (増加・好転の回答割合) - (減少・悪化の回答割合)



（今期について）

○すべてのD I値が前期と比較して上昇し、プラス値を記録した。特に売上高D Iについては大幅に回復した。
 ○景況感の意見として、「順調に推移している」（サービス業）、「年末需要の増加」（卸売業）等の意見が挙げられた。

（来期について）

○すべてのD I値が今期と比較して下降し、マイナス値になると予測されている。
 ○景況感の意見として、「今後、雪の影響等からの売上減少が見込まれる」（建設業）、「冬場はやはり少ない感じ」（小売業）、「人手不足による受売上減」（製造業）等の意見が挙げられた。

【経営上の問題点】「従業員の確保難」が10期連続して最大の経営問題

○今期、直面している問題として、「従業員の確保難」（58.5%）が最も多く、以下、「経費の増加」（41.5%）、「仕入単価の上昇」（22.6%）が続いた。
 ○具体的な問題点として、「最低賃金の上昇と働き方改革に対応する為の労働力の確保が難しい」（サービス業）、「設備等の老朽化による保守メンテナンス費用の増加」（小売業）等の意見が挙げられた。

【雇用情勢】「不足」が5期連続して「適正」を上回り、約6割の企業が「不足状態」と回答

○現在の雇用状況については、「過剰状態」（0.0%）、「適正水準」（41.8%）、「不足状態」（58.2%）となり、「不足状態」が「適正水準」を5期連続で上回り、約6割の企業が「不足状態」と回答した。

業種	企業数	%
製造業	31	28.2
建設業	24	21.8
小売業	12	10.9
卸売業	19	17.3
サービス業	24	21.8
合計	110	100.0

調査担当：企業経営アシストセンター 経営相談グループ TEL:076-263-1161

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下を指します。

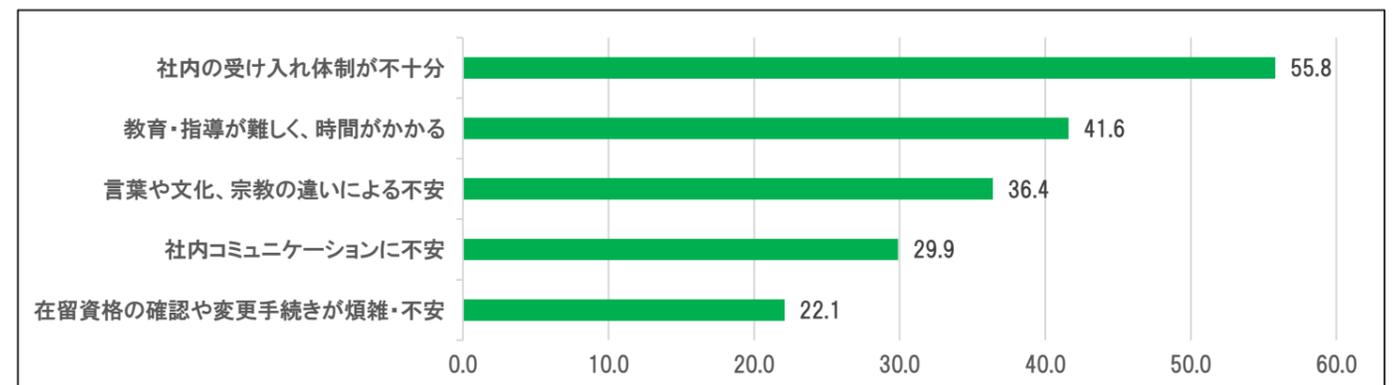
前期：平成30年度第2四半期（7月～9月）
 今期：平成30年度第3四半期（10月～12月）※12月は見込
 来期：平成30年度第4四半期（平成31年1月～3月）

○今年度の中途採用に関しては、「正規社員を中途採用した」（53.2%）が最も多く、以下、「どちらも中途採用しなかった」（19.3%）、「正規社員、非正規社員の両方を中途採用した」（17.4%）が続いた。
 ○来年度（平成31年度4月）の社員の雇用に関しては、「正規社員の雇用を予定」（70.1%）が最も多く、以下、「正規社員・非正規社員の両方を雇用予定」（14.0%）、「どちらも雇用を予定していない」（13.1%）が続いた。また、「正規社員の雇用を予定」を選んだ理由として、「退職する職員の補充」（建設業）、「社員の高齢化に対し、若い人材を入れたい」（卸売業）等の意見が挙げられた。

【外国人労働者の雇用について】雇用していない最大の要因は「社内の受け入れ体制の不十分」

○現時点での外国人労働者の雇用状況については、「雇用している」（20.9%）、「過去に雇用していたが、現在は雇用していない」（3.6%）、「雇用していない」（75.5%）となり、約8割の企業が外国人労働者を雇用していない事がわかった。
 ○外国人労働者を雇用する（していた）理由については、「日本人が採用できない（募集をしても集まらない）ため」（38.5%）が最も多く、以下、「海外展開を強化するため」（34.6%）、「外国人ならではの能力が必要のため」（30.8%）が続いた。【複数回答可】

○外国人労働者を雇用していない理由【複数回答可 上位5つ抜粋 単位 (%)】



○今後の外国人労働者の雇用計画については、「さらに増やしていきたい」（14.4%）、「現状維持（雇用しない場合も含む）」（77.9%）、「減らしたい」（0.0%）、「その他」（7.7%）となり、約8割の企業が「現状維持（雇用しない場合も含む）」と回答した。また、「現状維持（雇用しない場合も含む）」を選んだ理由として、「受け入れ体制を構築する余裕がない」（卸売業）、「技術の伝承が出来ない」（製造業）等の意見が挙げられた。

【その他、景気に関する意見】米中貿易摩擦等、海外の動向を注視していくが多く挙げられた

○「米中貿易摩擦など、海外リスクが確実に広がっている」（卸売業）、「米中貿易摩擦の影響が現れはじめてきた」（製造業）、「国際情勢悪化による景気減速懸念あり」（サービス業）等の意見が挙げられた。